

北海道

(岩見沢市)

フェロモントラップ等を活用した水稲の害虫防除

【1. 概要】

- ・環境にやさしい農業を実践していくため、水稲栽培において、米を吸汁加害するカメムシ類について、フェロモントラップを活用した適期の発生予察と機械除草の組み合わせにより、効果的な防除を実施
- ・岩見沢市内での導入面積は約416ha。平成25年度比160%増で、産地での普及率は5%

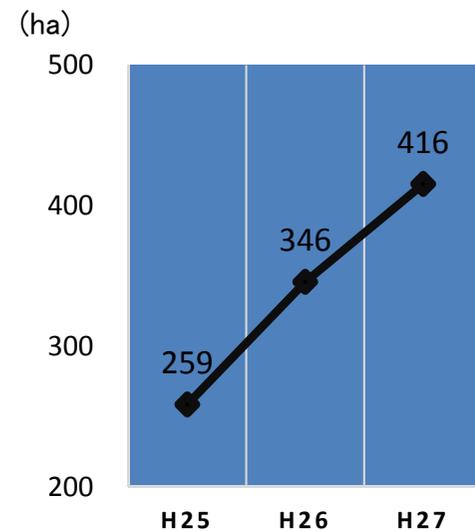


図1. フェロモントラップと機械除草の取組面積の推移(岩見沢市)



図2. フェロモントラップの設置

【問い合わせ先】

北海道農政部生産振興局

技術普及課

電話：011-231-4111 (内27-838)

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・フェロモントラップ等を活用した害虫防除技術が、環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う環境保全型農業直接支払交付金(以下「環境直払」という。)の支援対象となったことをきっかけに、岩見沢市双葉地区生産者グループにおいて平成25年度から実践している(構成員:13人、取組面積:259ha)

(2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・生産者グループの構成員が一律の取組となるよう、代表者からフェロモントラップの設置時期や除草時期について指示を行った
- ・双葉地区の取組は市内の他グループも参考にしており、「環境直払」の支援施策を活用したフェロモントラップ等による水稲の害虫防除が普及している(図1、2)

【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・適期のカメムシ発生予察と機械除草によって、化学合成農薬の散布回数が11回以下(慣行レベル:22回)に低減され、薬剤費のコストダウンが図られた